

「週5日あった派遣の仕事がゼロに」

生活困窮訴える大学生

民青同盟広島県委員会はこの間、「新型コロナウイルスに関する青年学生実態調査」とりくみ202人の青年から声を集めました。その結果をまとめ、4月24日に広島労働局に提出し要請を行いました。大平喜信前衆議院議員も同席しました。



広島労働局に要請する小丸涼民青県副委員長(中央)と大平よしのぶ前衆議院議員(右)=4月24日

民青が青年の声を集め労働局へ要請

「新型コロナウイルスに関する青年学生実態調査」を200人から

要請の席で、民青の小丸涼副委員長は「アルバイトのシフトが感染対策のために減らされ、収入がいつもの半分以下になった」「6割の休業手当では生活していけない」などアンケートに寄せられた切実な声を紹介。アルバイトをはじめ、非正規雇用やフリーランスで働く人への休業補償や休業手当を8割へ引き上げることなどを求めました。

大学生の同盟員は、通常は週5日あった派遣の仕事が4月に入り全くなり生活が困窮している自身の現状をうったえ支援を求めました。

担当者は「休業手当は正規社員だけでなくアルバイトや非正規労働者も含めて支払いの対象になる。今回は雇用保険未加入の労働者も雇用調整助成金支給の対象にした。早急に支給決定されるよう努力したい」と答えました。

また同日、民青は党広島市議団とともに広島市立大学の学生たちへの支援を求めて広島市への要請も行いました。

じゃけえ!

日本共産党



大平喜信Twitter
LIVE配信中



日本共産党広島県委員会

Tel 082-228-3366 Fax 082-227-8120
Mail jcph@nifty.com

仕事を
クビに!?

勝手な解雇は
許されません



労働組合と相談を

日本共産党

自営業、
フリーランスは
!?

家賃・リース代etc.
収入の8割の補償を



共産党の提案

日本共産党